



		<p>デスクレビュー(フェーズ1検証)の結果に基づき、プロジェクト事業者等に対するインタビュー、記録及び現地確認(フェーズ2検証)を行った。検証ポイントは以下の通りである。</p> <p>&lt;GHGデータ及び情報&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクト活動に関係するすべての吸収・排出活動</li> <li>・ 対象森林の現況</li> <li>・ パラメータの引用</li> <li>・ 活動量データ並びに算定に必要なデータ</li> <li>・ データの集計結果</li> <li>・ 吸収増大量の算定結果</li> </ul> <p>&lt;QA・QC体制&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ モニタリング体制及び算定体制</li> <li>・ モニタリング担当者の力量</li> <li>・ データチェックの実施状況</li> <li>・ 計測機器の管理状況</li> </ul>				
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012
	t-CO2	—	—	—	54	219
検証結果の要約		<p>一般財団法人 日本品質保証機構(JQA)は、高知県津野町による「高知県津野町龍馬の森間伐推進プロジェクト」を対象として、モニタリング期間(2012年1月1日～2013年3月31日)における二酸化炭素吸収増大量を検証した。検証の結果、「高知県オフセット・クレジット(高知県J-VER)制度に基づく温室効果ガス吸収プロジェクトモニタリング報告書 Ver.1.1」に記載された二酸化炭素吸収増大量273 t-CO<sub>2</sub>は「高知県オフセット・クレジット(高知県J-VER)制度に基づく温室効果ガス吸収プロジェクト申請書(第1回変更) Ver.2.1」及び「高知県オフセット・クレジット(高知県J-VER)制度に基づく温室効果ガス吸収プロジェクト計画書別紙 モニタリング計画書(第1回変更) Ver.2.1」に基づいて算定されており、不確かさ及び誤りの合計値が0 t-CO<sub>2</sub>(二酸化炭素吸収増大量に対する割合:0%)となり、重要性の判断基準の5%未満であることから、検証意見は無限定適正意見であることを表明する。</p>				

i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。

ii 検証機関がプロジェクト代表事業者等からモニタリング報告書を受領した日を記載すること(この日を以て当該検証の開始日とみなす)。